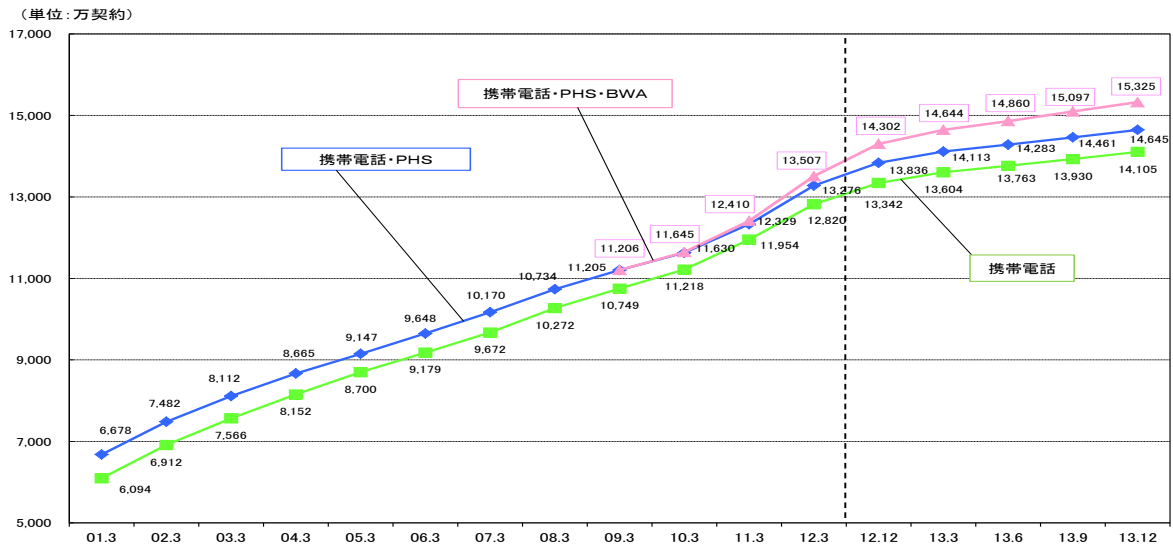


1 移動系通信

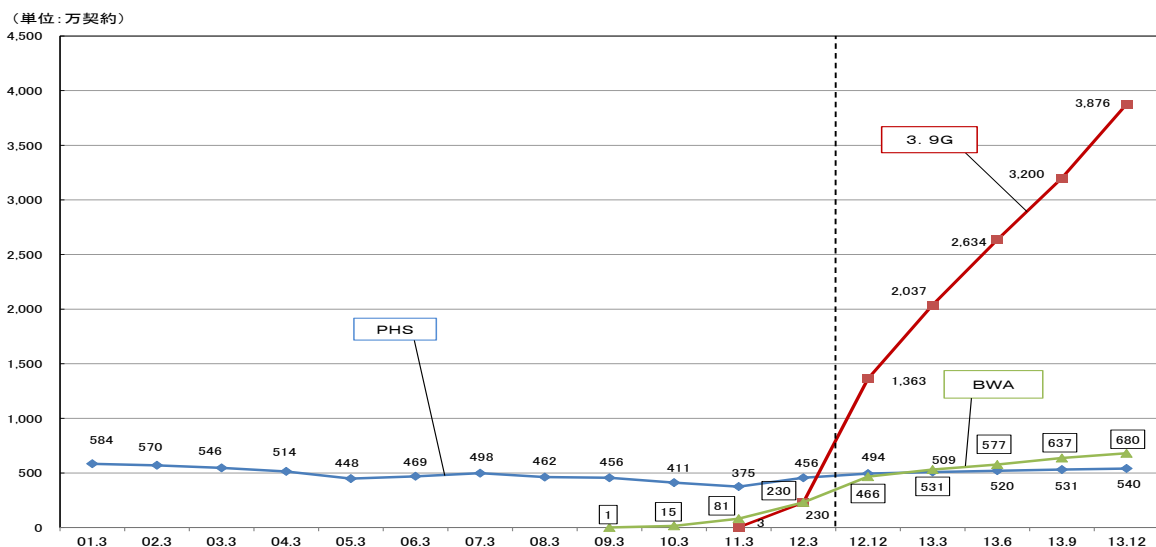
(1) 携帯電話・PHS・BWA (MVNOを含む。)

- **携帯電話・PHS・BWAの契約数は1億5,325万**（前期比+1.5%、前年同期比+7.2%）であり、その内数である**携帯電話は1億4,105万**（前期比+1.3%、前年同期比+5.7%）、**PHSは540万**（前期比+1.7%、前年同期比+9.3%）、**BWAは680万**（前期比+6.8%、前年同期比+45.9%）となっている。
- **3.9世代携帯電話の契約数は3,876万**で、携帯電話の契約数に占める割合は**27.5%**（前期比+4.5ポイント、前年同期比+17.3ポイント）となっている。
- 携帯電話・PHS・BWA契約数における**NTTドコモのシェアは40.6%**（前期比▲0.3ポイント、前年同期比▲2.1ポイント）、**KDDIのシェアは25.9%**（前期比±0ポイント、前年同期比+0.1ポイント）、**ソフトバンクモバイルのシェアは22.7%**（前期比+0.1ポイント、前年同期比+0.8ポイント）となっている。

携帯電話・PHS・BWAの契約数の推移

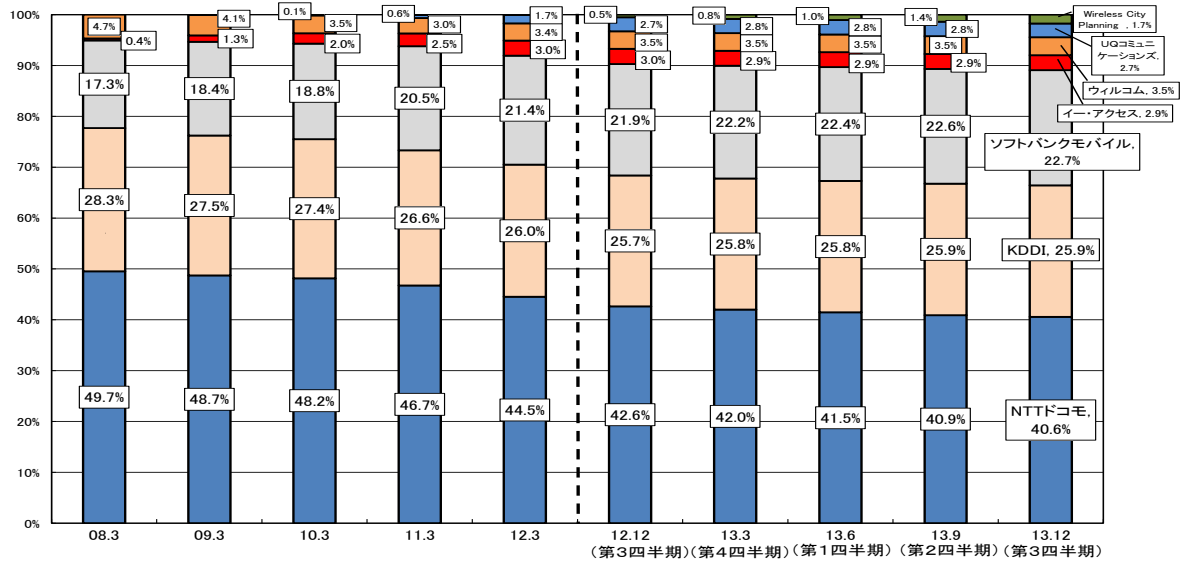


PHS・BWA・3.9Gの契約数の推移

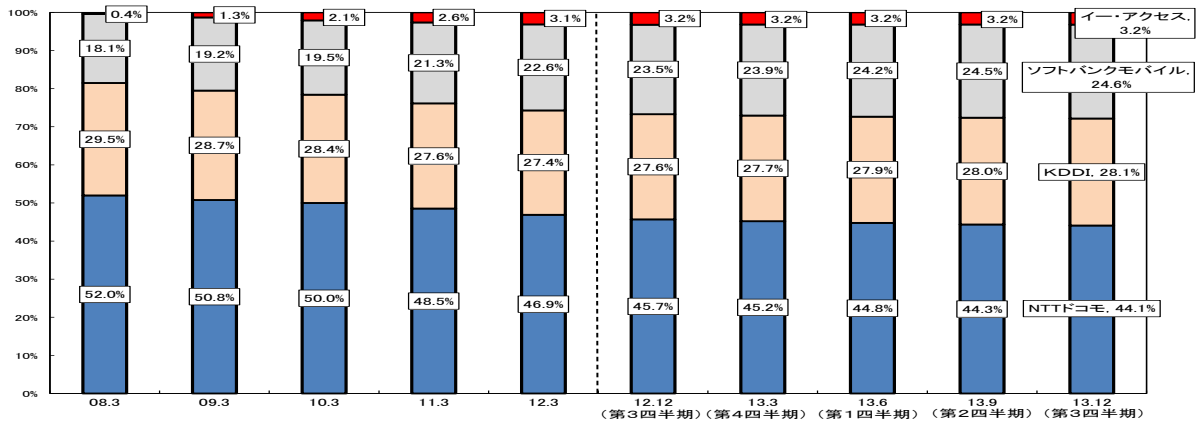


注1：各契約数は四捨五入を行っているため、合計値が合わない場合がある。以下同じ。
 注2：携帯電話・PHS・BWAの総数には、それぞれのMVNOの契約数も含む。

携帯電話・PHS・BWAの契約数の事業者別シェアの推移

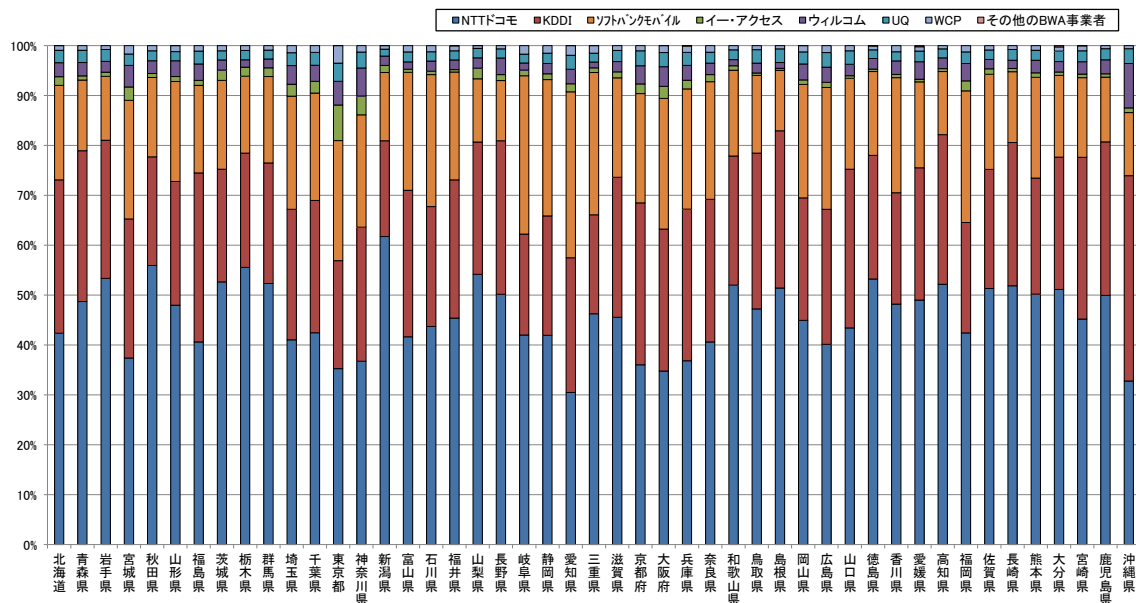


携帯電話の契約数の事業者別シェアの推移



注1：四捨五入の関係上、合計が100%にならない場合がある。以下同じ。
 注2：08年3月末までのNTTドコモにはPHS契約数が含まれている。
 注3：11年3月末までは一般社団法人電気通信事業者協会資料による。

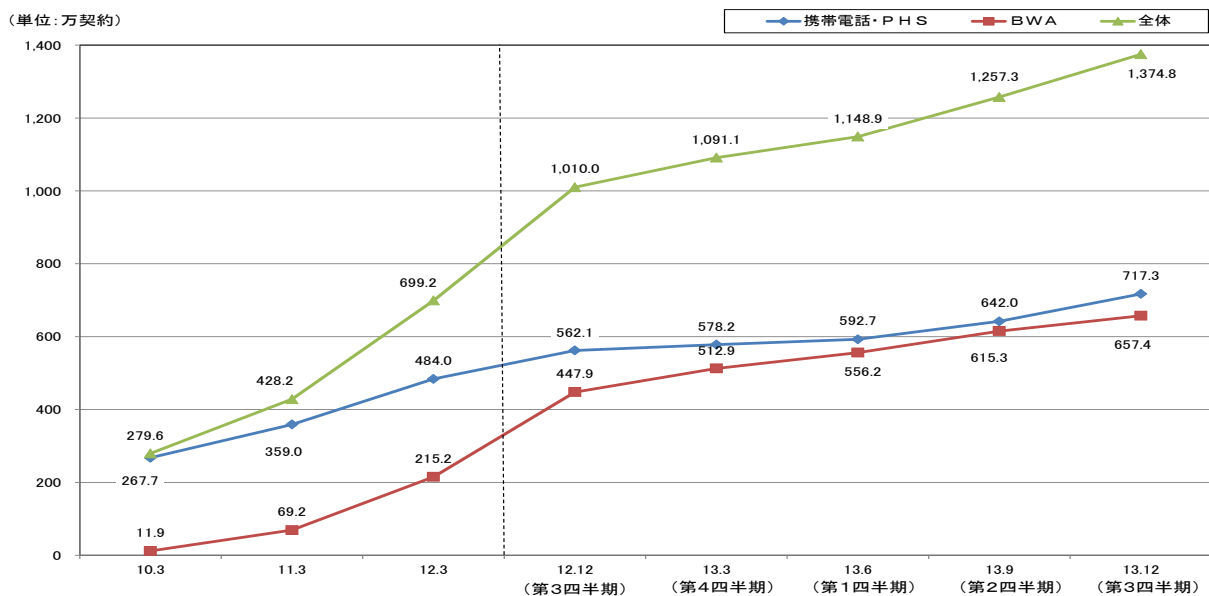
携帯電話・PHS・BWAの契約数の都道府県別事業者シェア



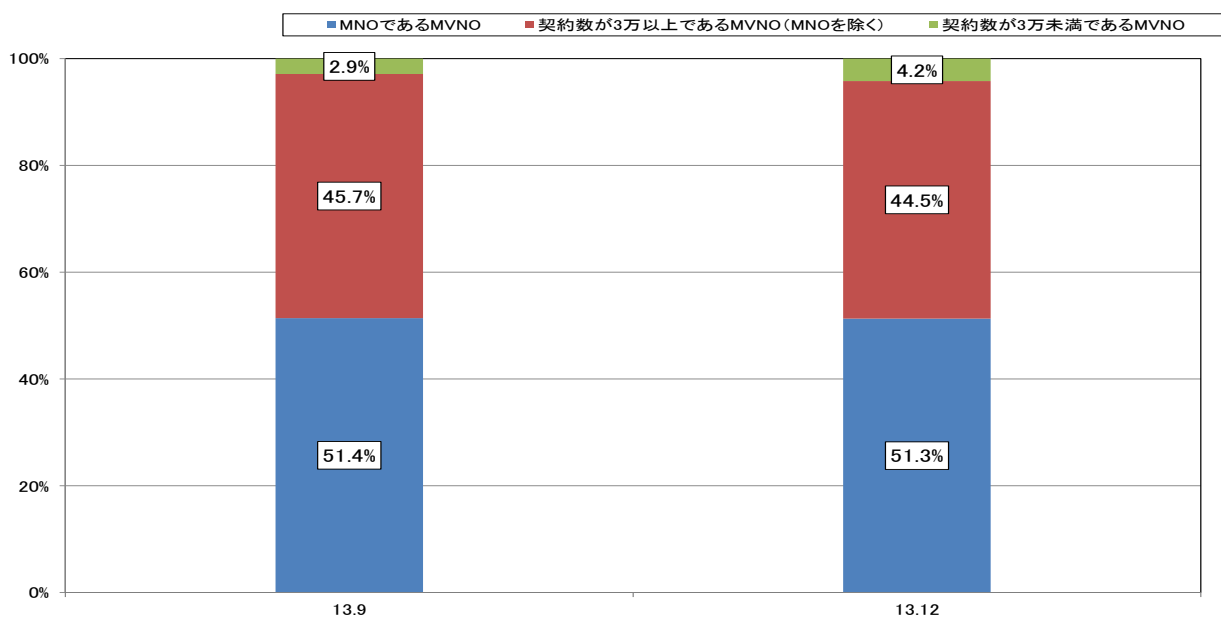
(2) MVNO

- MVNOサービス全体の契約数（携帯電話・PHS・BWAの契約数の内数）については、1,375万（前期比+9.3%、前年同期比+36.1%）となっている。
- 携帯電話・PHSに係るMVNOの契約数（携帯電話・PHS契約数の内数）は717万（前期比+11.7%、前年同期比+27.6%）、BWAに係るMVNOの契約数（BWA契約数の内数）は657万（前期比+6.8%、前年同期比+46.8%）となっている。
- MVNOサービスのシェアについては、MNOであるMVNOが51.3%（前期比▲0.1ポイント）、契約数が3万以上であるMVNO（MNOを除く）が44.5%（前期比▲1.2ポイント）となっている。
- MVNOサービスの事業者数は161社（前期比+4社）となっている。

MVNOサービスの契約数の推移



MVNOサービスのシェアの推移



2 データ通信

(1) 移動系

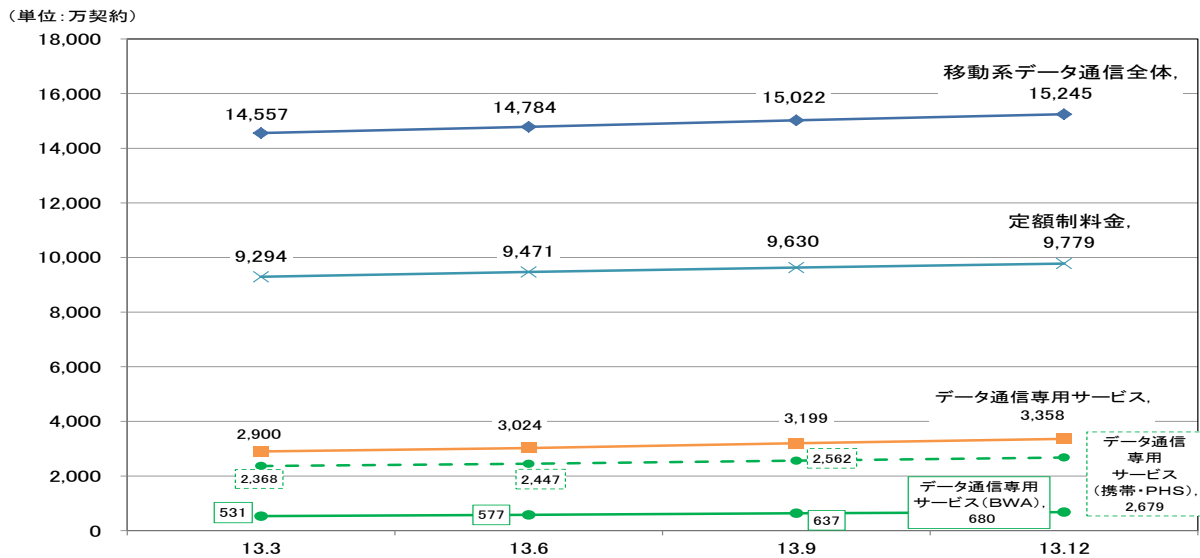
- **移動系データ通信^{※1}の契約数は1億5,245万（前期比+1.5%）であり、そのうちの定額制料金の契約数は9,779万となっている。**
- **移動系データ通信専用サービス^{※2}の契約数は3,358万（前期比+5.0%）となっており、移動系データ通信専用サービスのシェアについては、データ通信専用通信モジュール^{※3}が28.3%（前期比▲0.7ポイント）、タブレット、Wi-Fiルータ等は71.7%（前期比+0.7ポイント）となっている。**

※1 携帯電話・PHSアクセスサービス及びBWAアクセスサービスの合計。

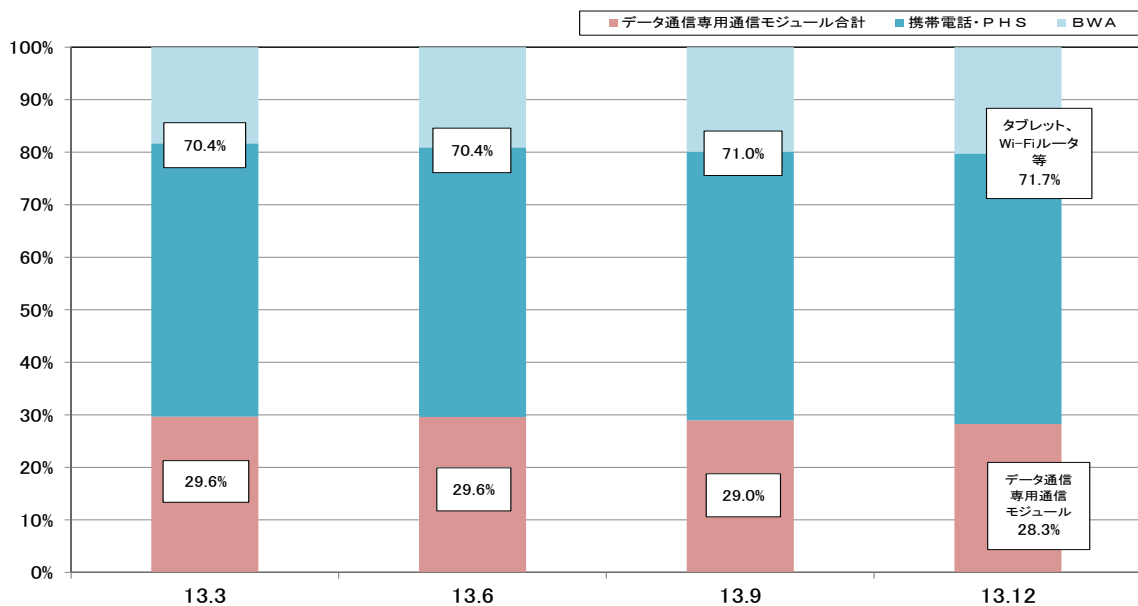
※2 携帯電話・PHSアクセスサービスのうち、提供する回線において音声伝送役務が提供されていないもの及びBWAアクセスサービスの合計。

※3 データ通信専用通信モジュールとは、自動販売機、デジタルフォトフレーム等の機器に組み込み、機械同士のデータ通信等に利用される部品（モジュール）をいう。

移動系データ通信の契約数の推移



移動系データ通信専用サービスのシェアの推移



注：通信モジュールについては、携帯電話・PHSとBWAとの分計はしていない。

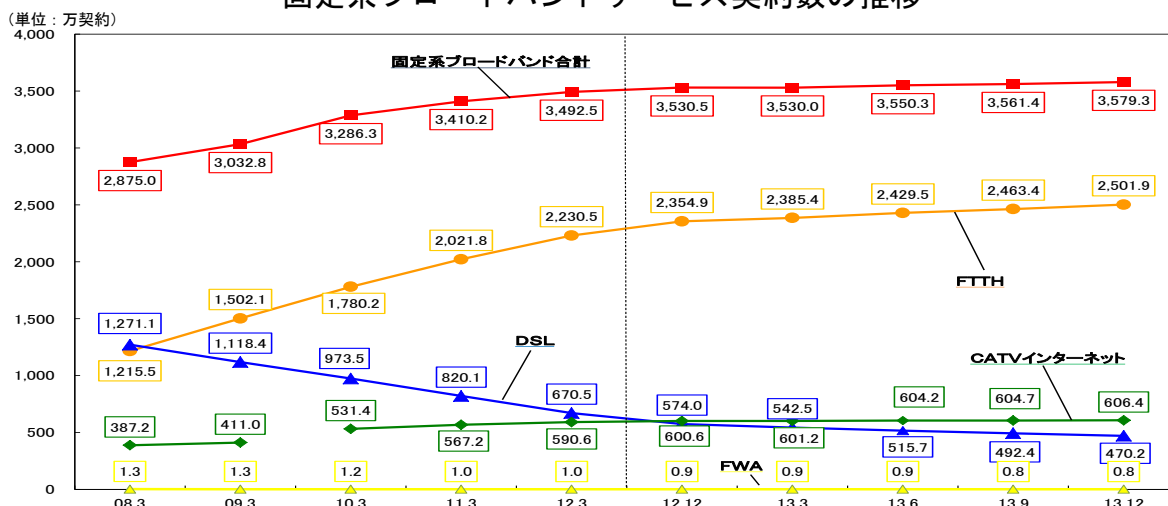
(2) 固定系

① ブロードバンド全体

- 固定系ブロードバンドサービス※の契約数は3,579万（前期比+0.5%、前年同期比+1.4%）となっている。
- FTTHの契約数は2,502万（前期比+1.6%、前年同期比+6.2%）となっている。
- DSLの契約数は470万（前期比▲4.5%、前年同期比▲18.1%）となっている。
- 固定系ブロードバンド契約数におけるNTT東西のシェアは、54.3%（前期比±0ポイント、前年同期比+0.1ポイント）となっている。

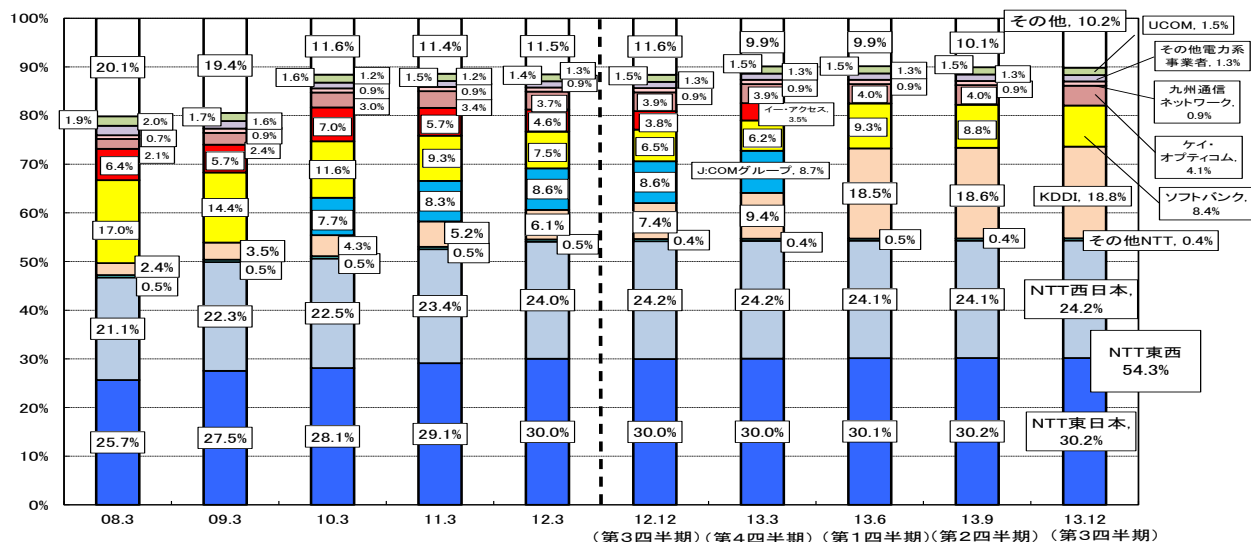
※ FTTHアクセスサービス、DSLアクセスサービス、CATVアクセスサービス及びFWAアクセスサービスの合計。

固定系ブロードバンドサービス契約数の推移



注：一部の事業者より契約数について集計方法の変更が報告されたため、2010年3月末の固定系ブロードバンド合計及びCATVインターネットの契約数及びシェアについて、前期との間で変動が生じている。

固定系ブロードバンドサービス契約数の事業者別シェアの推移



注1： この固定系ブロードバンド契約数の事業者別シェアはFTTH、DSL及びCATVインターネットを対象としており、FWAアクセスサービスを含んでいない。

注2： イー・アクセスのシェアには、アッカ・ネットワークスの契約数が含まれる（2009年度以降）。以下この「2 データ通信」において同じ。

注3： KDDIのシェアには、沖縄セルラー（2007年度第4四半期以降）、JCN（2007年度第4四半期以降）、CTC（2008年度第4四半期以降）及びOTNet（2009年第4四半期以降）、J：COMグループ（2013年度第1四半期以降）が含まれる。また、ソフトバンクのシェアには、イー・アクセス（2013年度第1四半期以降）が含まれる。以下この「2 データ通信」の（2）①及び②において同じ。

注4： J：COMグループのシェアについては、2008年度第4四半期までは、その他に含む。

注5： その他NTTのシェアには、NTT東日本-青森、NTT西日本-北陸、NTT西日本-東海、NTT西日本-岐阜、NTT西日本-兵庫、NTT西日本-中国、NTT西日本-四国、NTT西日本-山口、NTT西日本-九州、NTT西日本-南九州、NTT西日本-九州 沖縄支社、NTT MEDIAS、NTT-ME、NTTコミュニケーションズ、NTTビジネスソリューションズが含まれる。

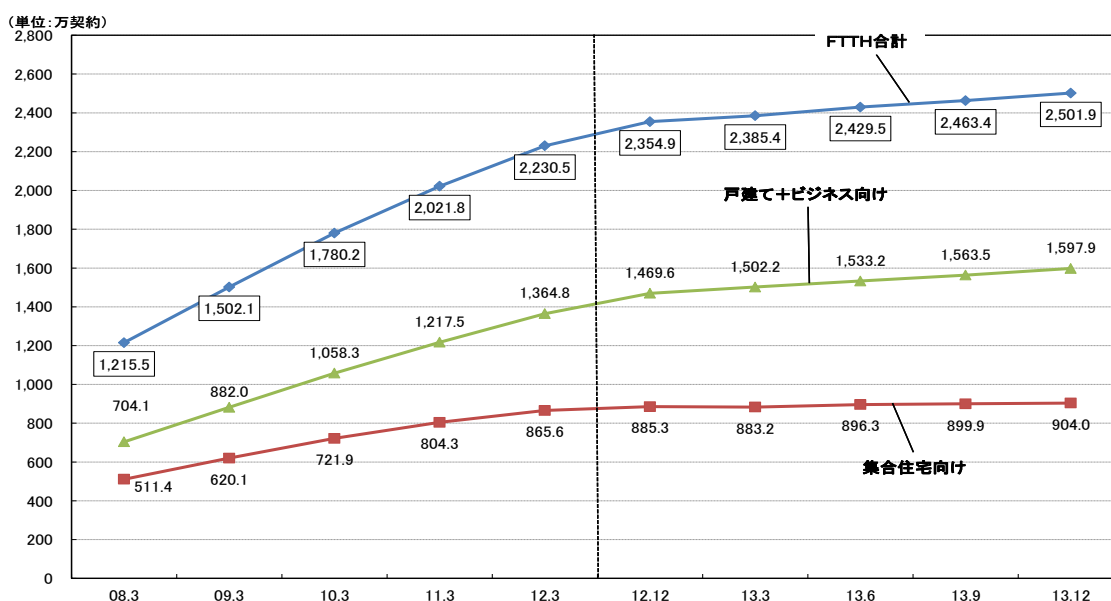
注6： その他電力系事業者のシェアには、北海道総合通信網、東北インテリジェント、北陸通信ネットワーク、四国通信ネットワーク、エネルギー・コミュニケーションズ、ファミリーネット・ジャパン、テブコシステムズ、ケイオプティ・サイバーポート（2010年度第4四半期まで）が含まれる。以下同じ。

注7： NTT東西のシェアについては、四捨五入の関係上、グラフ中の合計値と合わない場合がある。以下同じ。

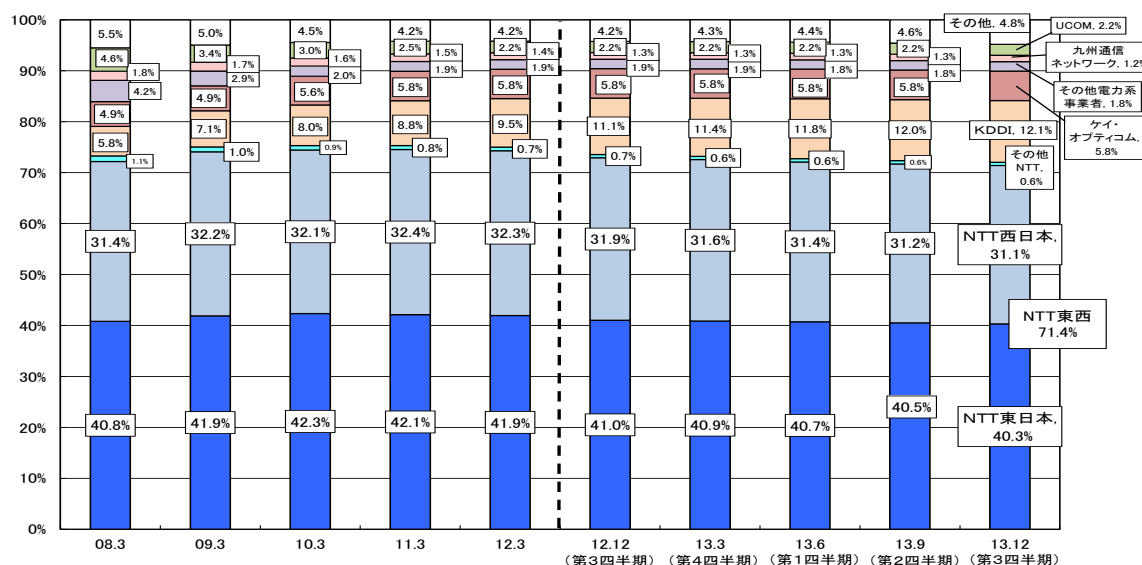
② FTTH（光ファイバ）

- FTTHの契約数は2,502万（前期比+1.6%、前年同期比+6.2%）となっている。
- 全体のシェアについては、NTT東西が71.4%（前期比▲0.3ポイント、前年同期比▲1.4ポイント）、KDDIが12.1%（前期比+0.1ポイント、前年同期比+1.0ポイント）、ケイ・オプティコムが5.8%（前期比、前年同期比ともに±0ポイント）、九州通信ネットワークが1.2%（前期比±0ポイント、前年同期比▲0.1ポイント）、その他電力系事業者は1.8%（前期比、前年同期比ともに±0ポイント）となっている。
- NTT東西のシェアについては、「戸建て+ビジネス向け」は72.1%（前期比▲0.3ポイント、前年同期比▲1.9ポイント）、「集合住宅向け」は70.3%（前期比▲0.3ポイント、前年同期比▲0.8ポイント）となっている。

FTTH契約数の推移



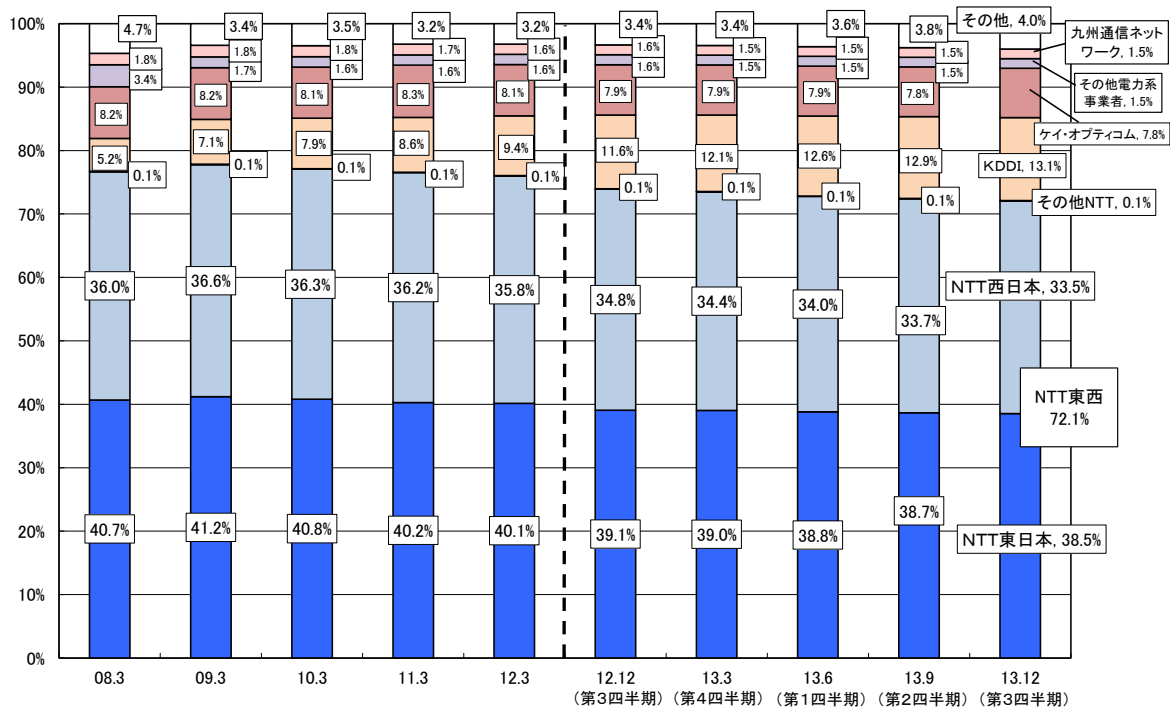
FTTH契約数の事業者別シェアの推移（全体）



注1： J：COMグループについては、2012年度第4四半期まではその他に、2013年度第1四半期以降はKDDIに含む。以下この「2 データ通信」の(2)②において同じ。

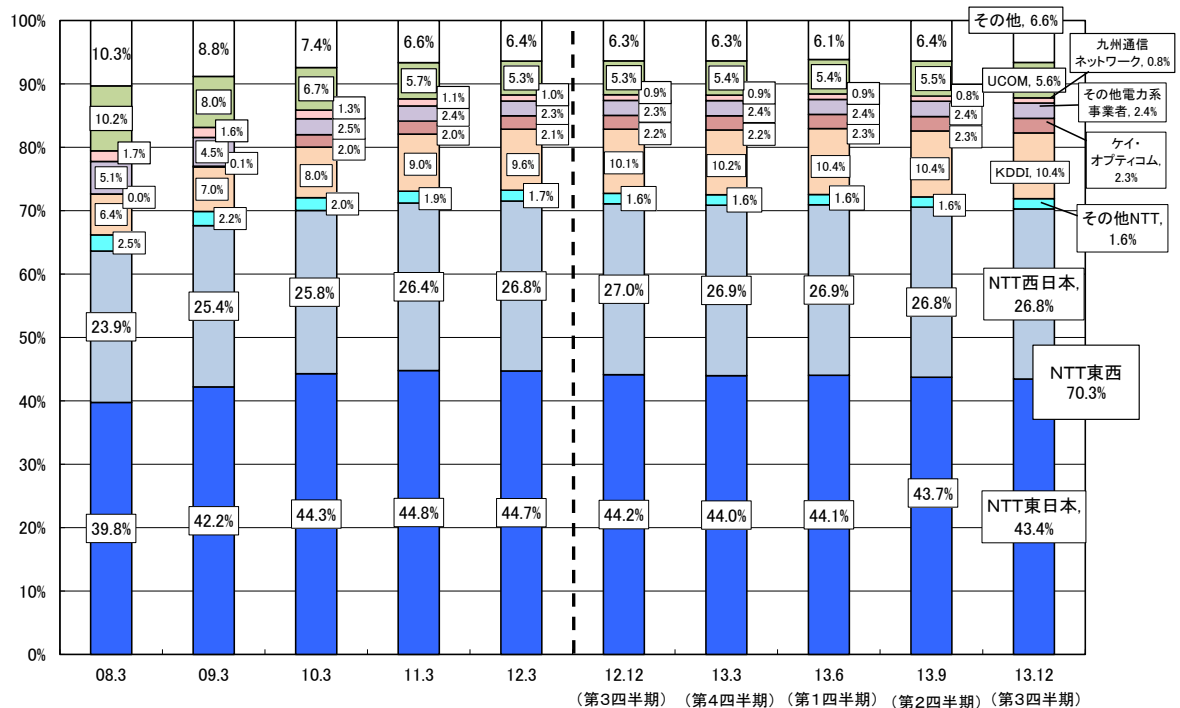
注2： その他NTTのシェアには、NTT西日本-北陸、NTT西日本-山口、NTT西日本-中国、NTT西日本-四国、NTT西日本-九州、NTT西日本-南九州、NTT西日本-九州 沖縄支社、NTT MEDIAS、NTT-ME、NTTコミュニケーションズ、NTTビジネスソリューションズが含まれる。

F T T H契約数の事業者別シェアの推移（戸建て+ビジネス向け）



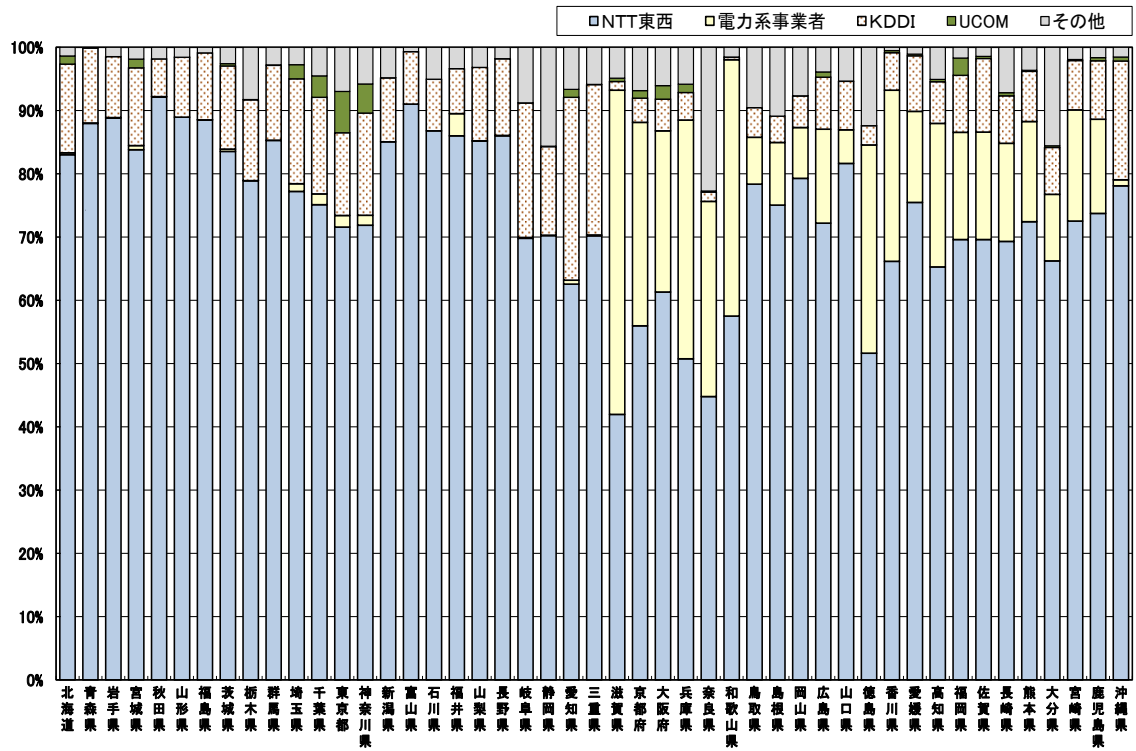
注： その他NTTのシェアには、NTT西日本-北陸、NTT西日本-中国、NTT西日本-四国、NTT西日本-九州、NTT西日本-九州 沖縄支社、NTT MEDIAS、NTTビジネスソリューションズが含まれる。

F T T H契約数の事業者別シェアの推移（集合住宅向け）



注： その他NTTのシェアには、NTT西日本-山口、NTT西日本-中国、NTT西日本-四国、NTT西日本-南九州、NTT MEDIAS、NTT-ME、NTTコミュニケーションズ、NTTビジネスソリューションズが含まれる。

F T T H 全体の契約数の都道府県別事業者シェア

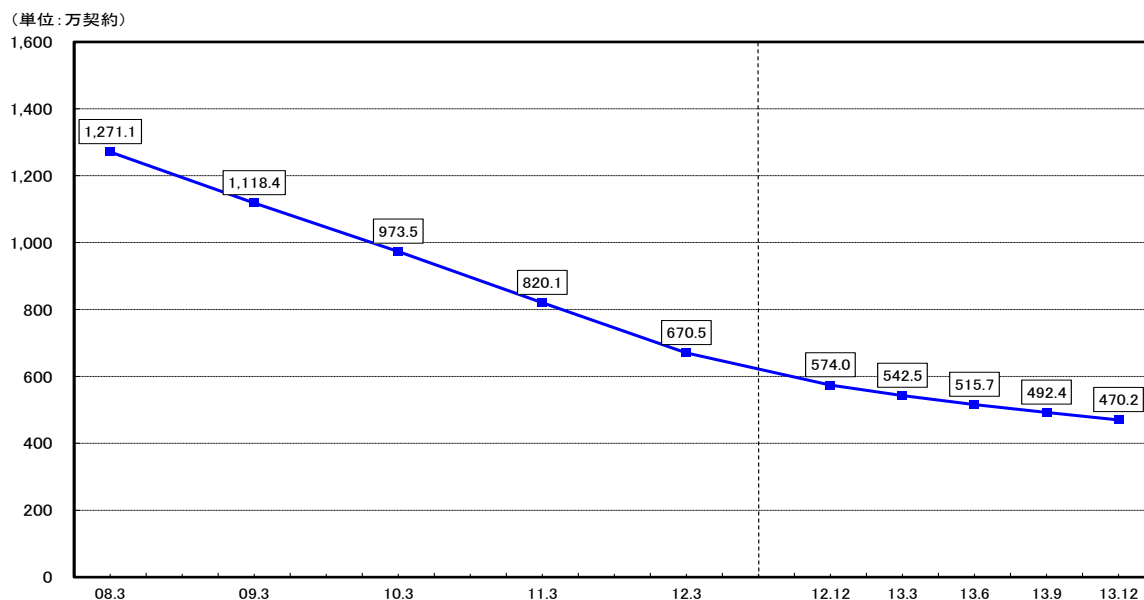


注：都道府県別のシェアについてはグラフのみ公表。

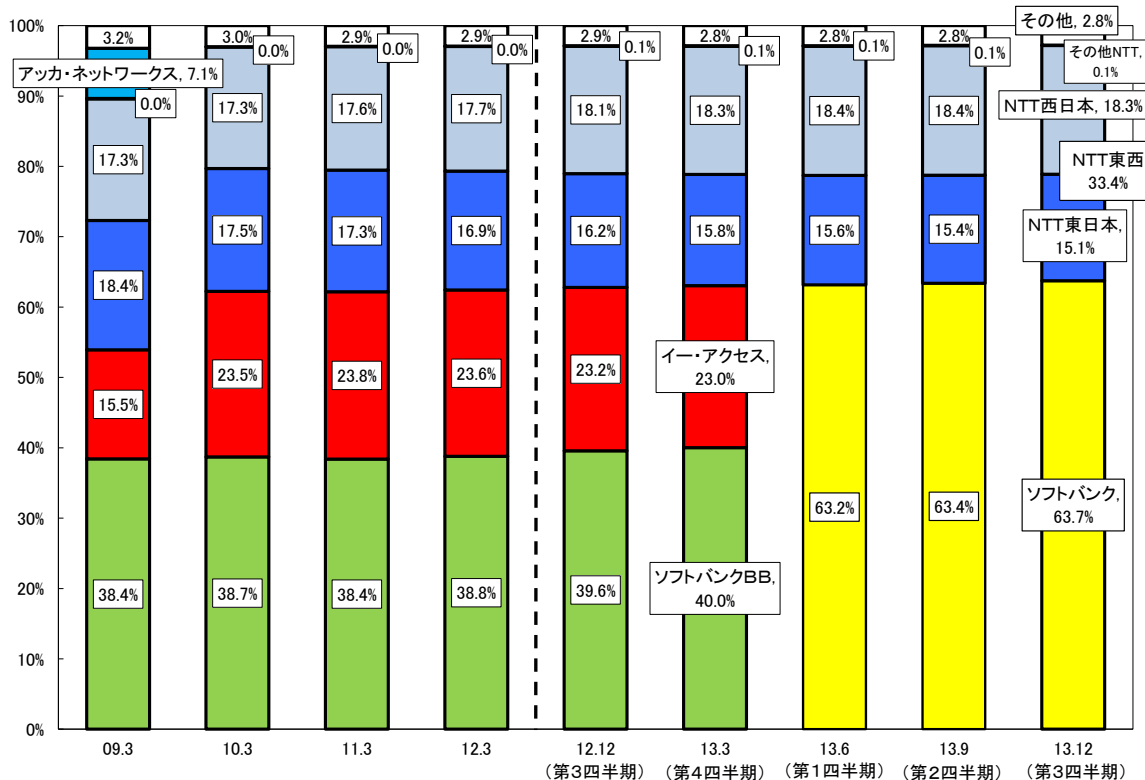
③ DSL

- DSLの契約数は470万（前期比▲4.5%、前年同期比▲18.1%）となっている。
- シェアについて、1位のソフトバンクは63.7%（前期比+0.4ポイント）、2位のNTT東西は33.4%（前期比▲0.3ポイント、前年同期比▲0.8ポイント）となっている。

DSL契約数の推移



DSL契約数の事業者別シェアの推移 (全国)



注1: ソフトバンクのシェアについては、ソフトバンクBB及びイー・アクセスを合算している（2013年度第1四半期以降）。

注2: その他NTTのシェアには、NTT東日本-青森、NTT西日本-東海、NTT西日本-兵庫、NTT西日本-四国、NTT西日本-九州、NTTビジネスソリューションズが含まれる。

注3: その他NTTのシェアについて、2008年第4四半期～2011年第4四半期は、0.049%以下のため、0.0%として表示している。

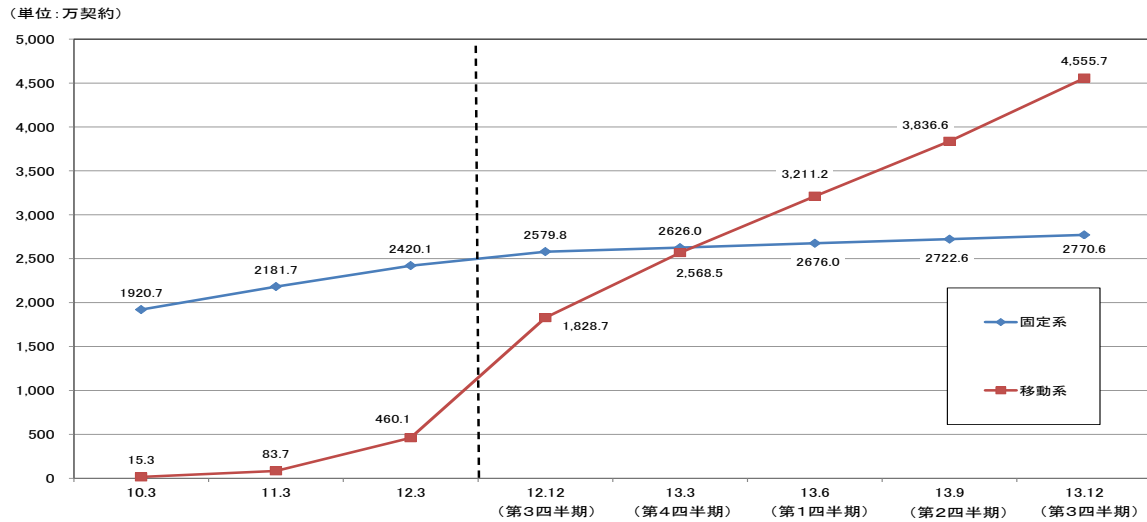
(3) 超高速ブロードバンドサービス契約数の推移

○ **固定系超高速ブロードバンドサービス※¹の契約数は2,771万（前期比+1.8%、前年同期比+7.4%）であり、移動系超高速ブロードバンドサービス※²の契約数は4,556万（前期比+18.7%、前年同期比+149.1%）となっている。**

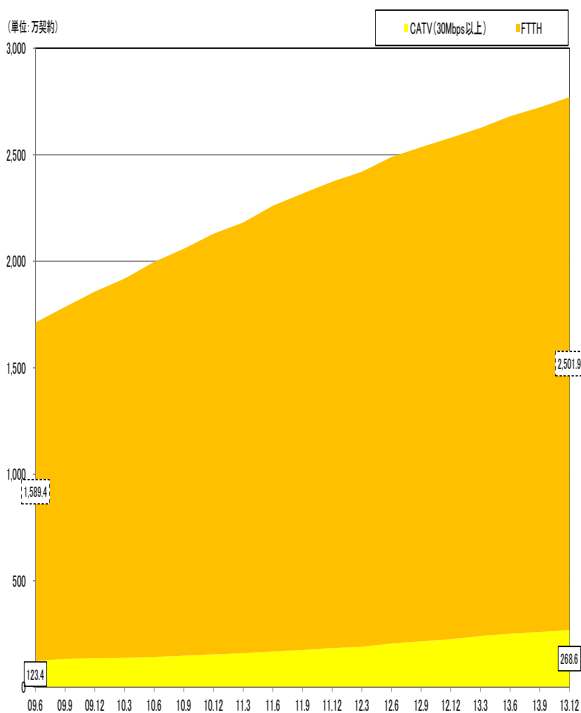
※¹ FTTHアクセスサービス及び下り30Mbps以上のCATVアクセスサービスの合計。

※² 3.9Gアクセスサービス及びBWAアクセスサービスの合計。

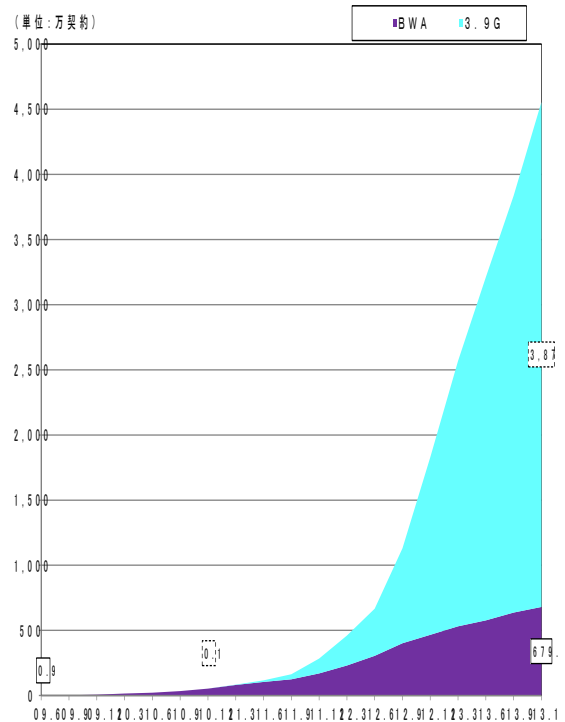
超高速ブロードバンドサービス契約数の推移



固定系超高速ブロードバンドサービス契約数の推移



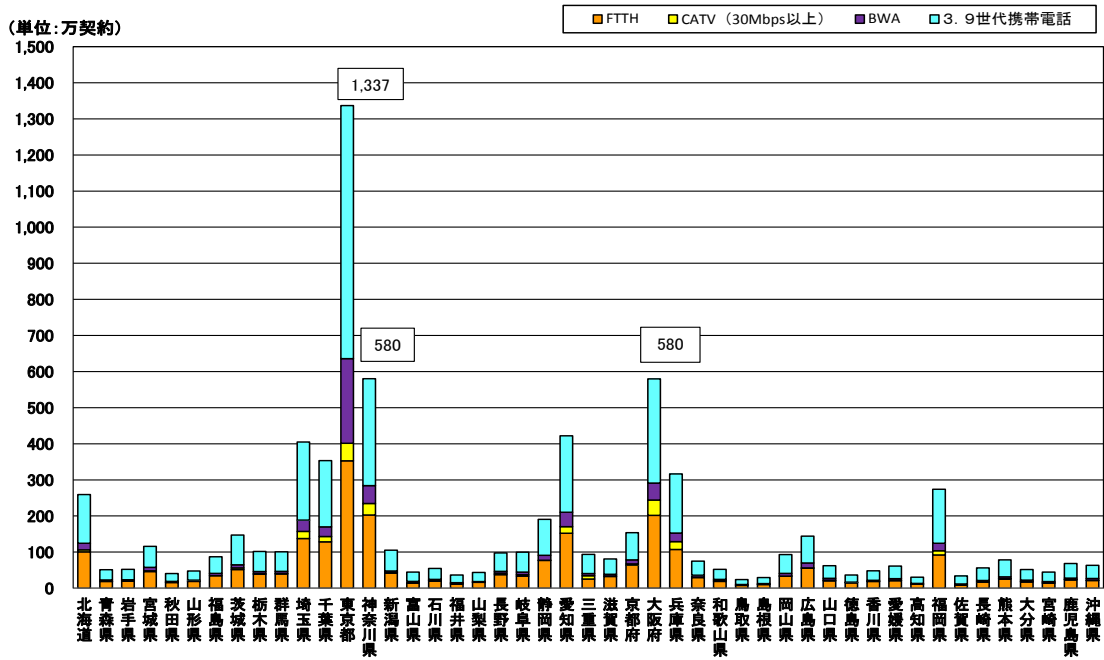
移動系超高速ブロードバンドサービス契約数の推移



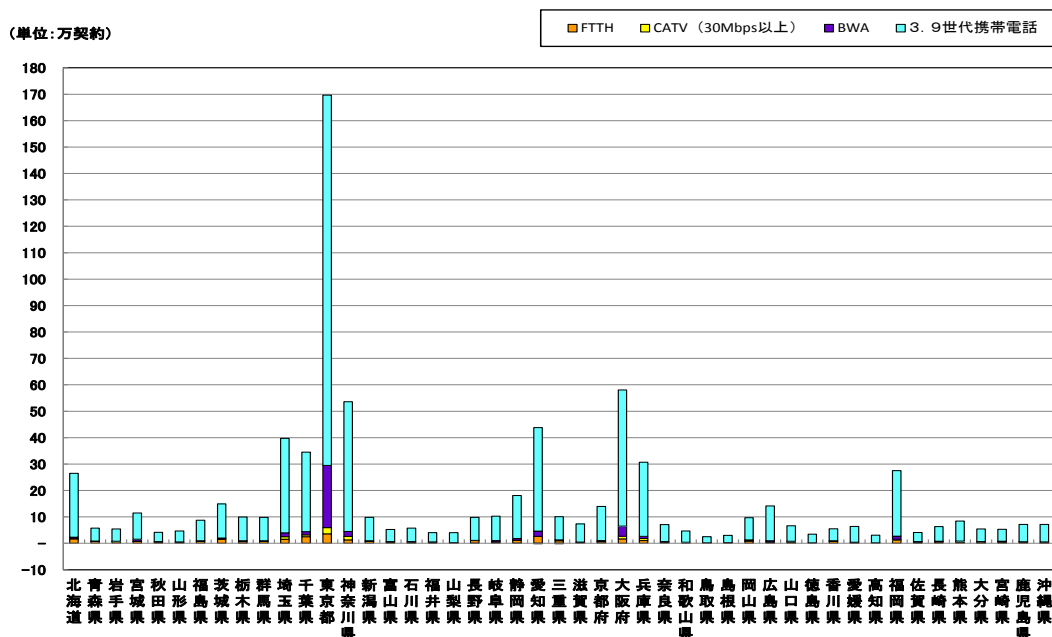
(4) 超高速ブロードバンドサービスの都道府県別契約数

- FTTHの契約数は全ての都道府県で増加し、CATVの契約数は9の県で減少している。
- 3.9世代携帯電話が全ての都道府県で最も高い割合を占めている（前期比+1府（京都府））。

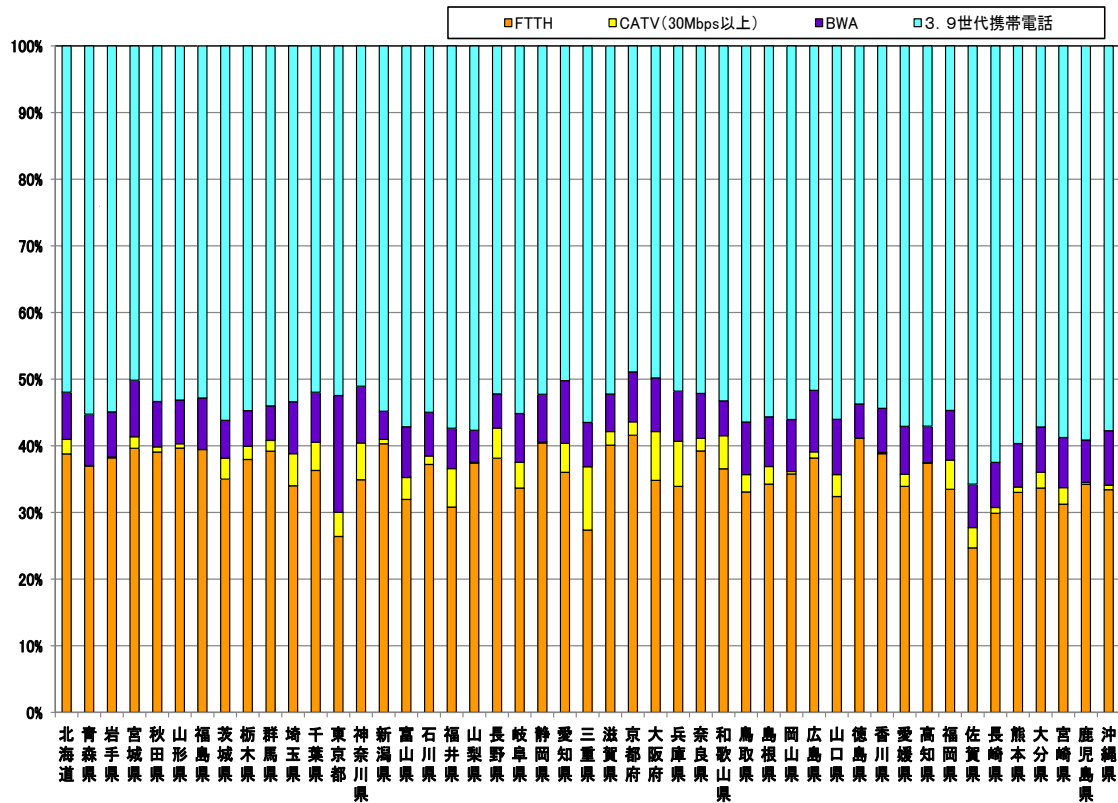
超高速ブロードバンドサービスの都道府県別の契約数



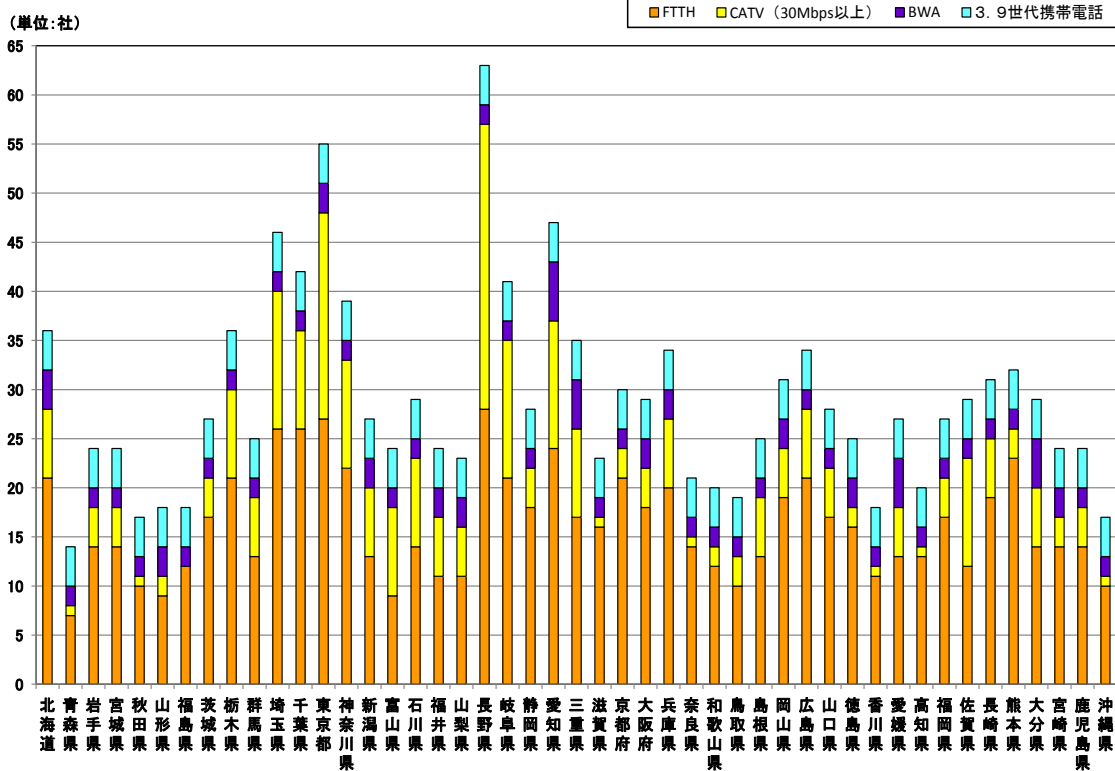
超高速ブロードバンドサービスの都道府県別の純増減数（対前期比）



都道府県別の超高速ブロードバンドサービスの比率



超高速ブロードバンドサービスの都道府県別提供事業者数



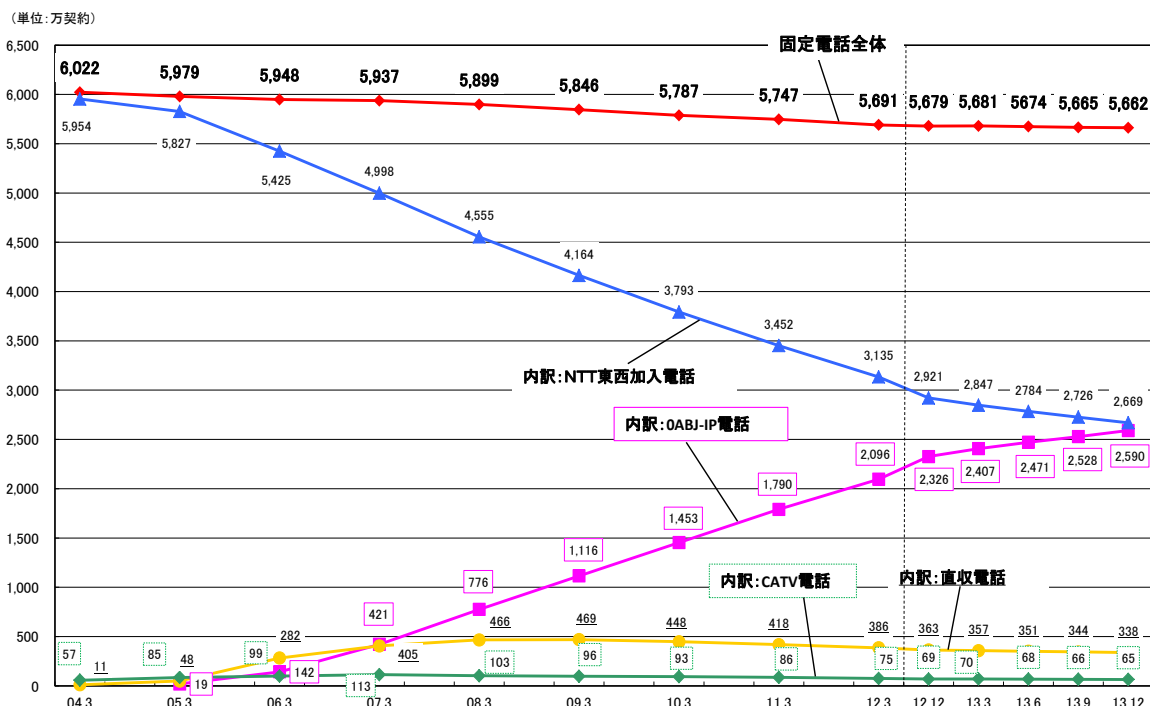
3 音声通信（固定系）

(1) 固定電話

- 固定電話*全体の契約数は 5,662 万（前期比▲0.1%、前年同期比▲0.3%）となっている。このうち、NTT東西加入電話は 2,669 万（前期比▲2.1%、前年同期比▲8.6%）である一方、OABJ-IP電話は 2,590 万（前期比+2.4%、前年同期比+11.3%）となっている。
- 固定電話契約数全体に占めるNTT東西のシェア（NTT東西加入電話及びNTT東西OABJ-IP電話の合計）は、75.0%（前期比▲0.5ポイント、前年同期比▲2.3ポイント）、KDDIのシェアは、18.2%（前期比+0.4ポイント、前年同期比+4.8ポイント）となっている。
- 固定電話全体からOABJ-IP電話を除いた契約数は、3,072 万件（前期比▲2.1%、前年同期比▲8.4%）となっている。

※ 固定電話とは、NTT東西加入電話（ISDNを含む。）、直収電話（直加入、新型直収、直収ISDNの合計）、OABJ-IP電話、CATV電話を指す。

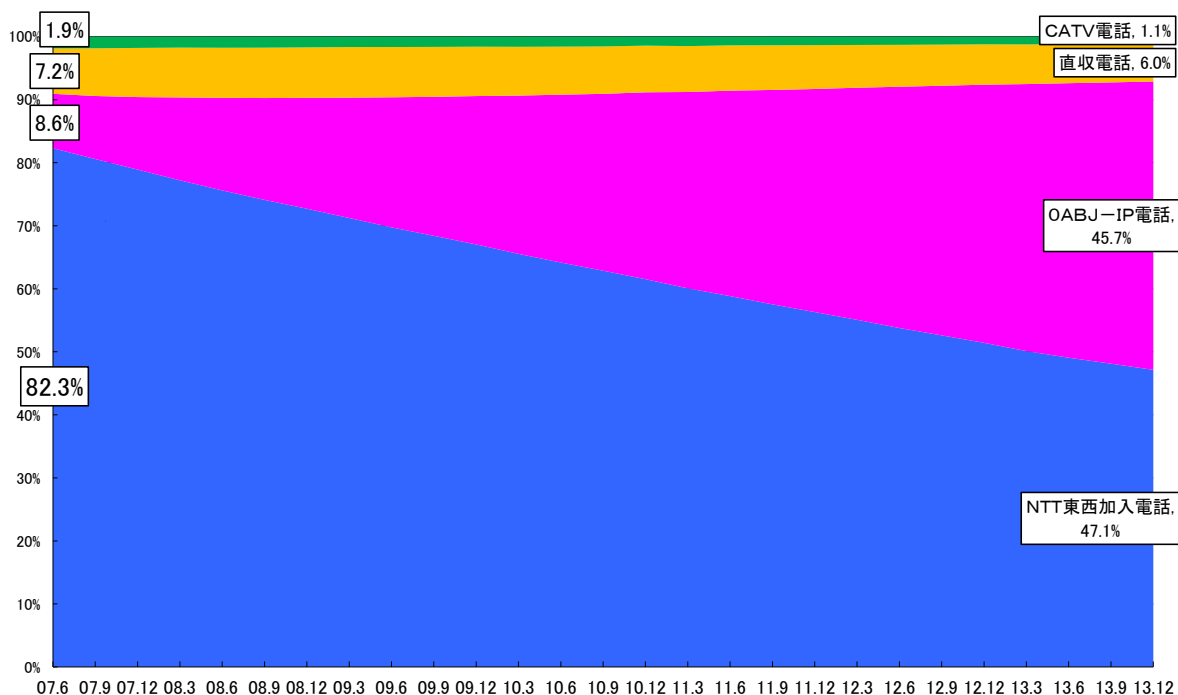
固定電話の契約数の推移



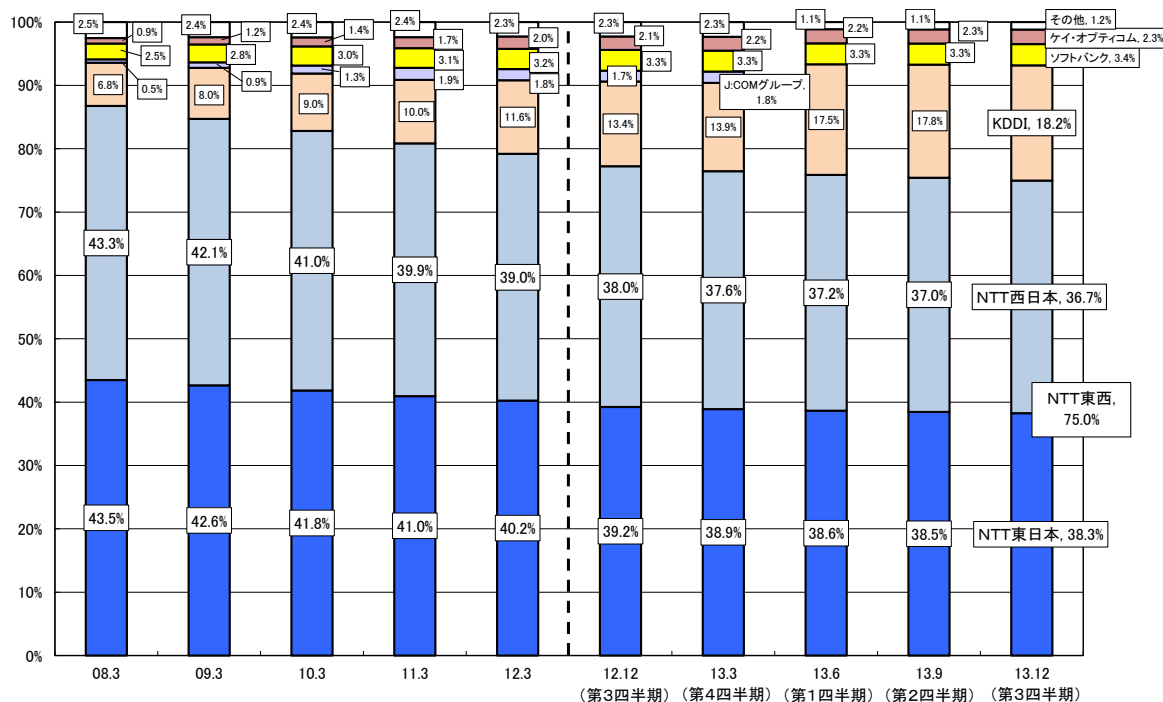
注1: 「OABJ-IP電話」は、利用番号数をもって契約数と見なしている。なお、OABJ-IP電話はNTT東西加入電話等との代替性が高いため固定電話に加えたが、IP電話としてもP.15以降に再掲している。

注2: 「CATV電話」は、CATV事業者が提供する固定電話サービスのうちアナログ電話を計上している。なお、CATV事業者が提供するIP電話については「OABJ-IP電話」に計上している。以下同じ。

固定電話のサービス別のシェアの推移



固定電話の契約数の事業者別シェアの推移



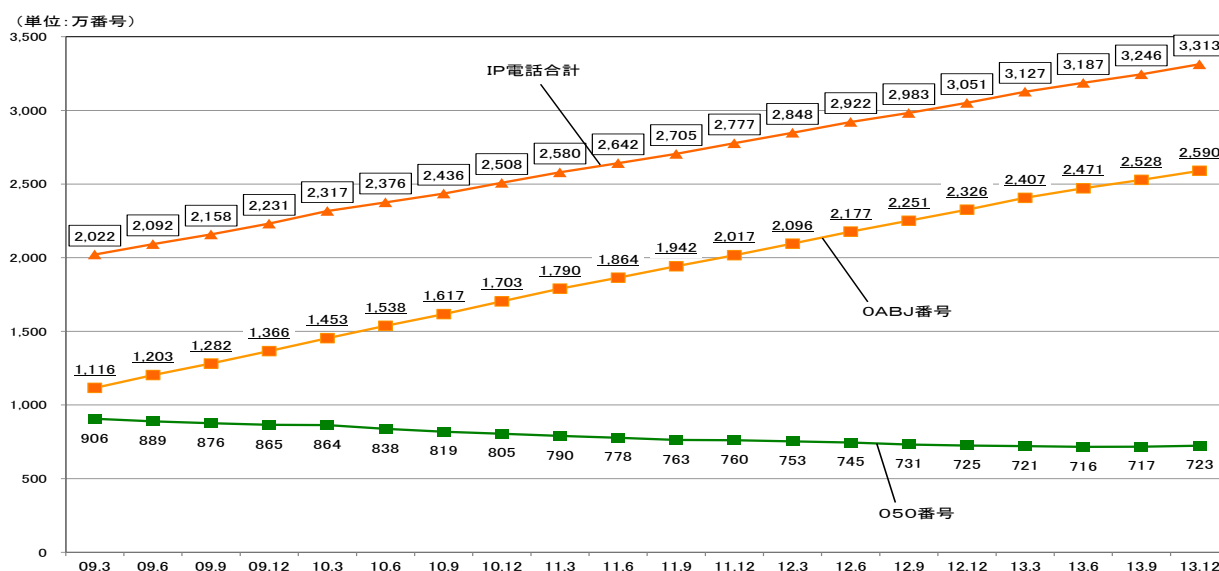
注1：NTT東西のシェアは、それぞれ加入電話（ISDNを含む。）、OABJ-IP電話の合計を示す。

注2：2013年度第1四半期において、J:COMグループがKDDIの連結子会社となったことに伴い、J:COMグループの契約数については親会社のシェアに合算している。以下同じ。

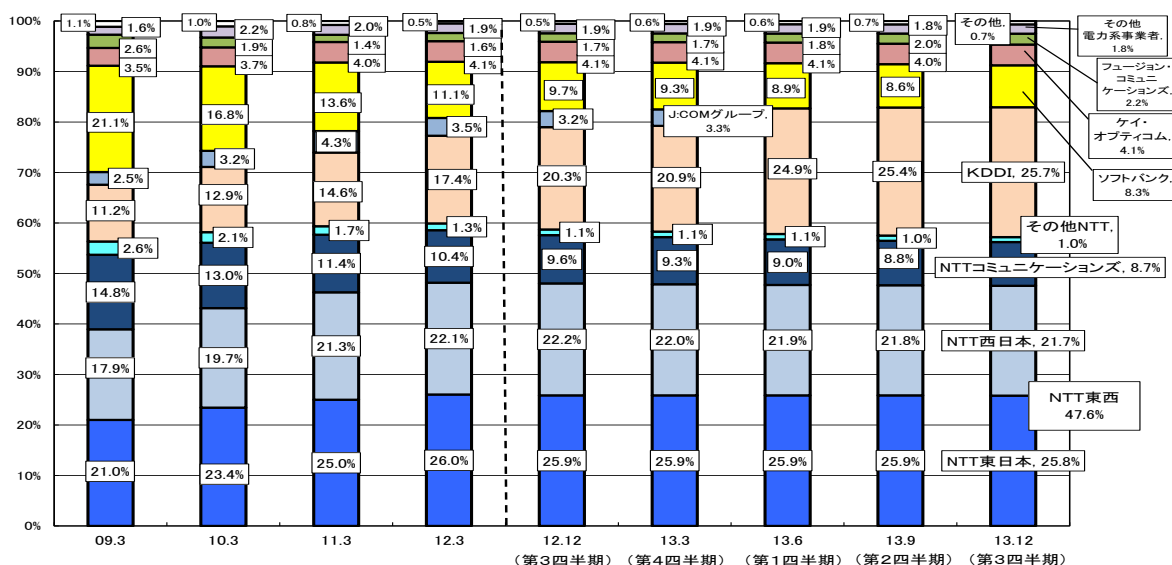
(2) IP電話

- IP電話の利用番号数は、3,313万（前期比+2.1%、前年同期比+8.6%）であり、このうち、OABJ番号の利用数は2,590万（前期比+2.4%、前年同期比+11.3%）、O50番号の利用数は、723万（前期比+0.9%、前年同期比▲0.2%）となっている。
- OABJ番号におけるNTT東西のシェアは、60.8%（前期比▲0.4ポイント、前年同期比▲2.2ポイント）、KDDIのシェアは、30.9%（前期比+0.3ポイント、前年同期比+6.5ポイント）となっている。
- O50番号におけるシェアについては、NTTコミュニケーションズは39.6%（前期比▲0.2ポイント、前年同期比▲0.6ポイント）、ソフトバンクは35.7%（前期比▲1.0ポイント、前年同期比▲3.1ポイント）となっている。

IP電話の利用番号数の推移



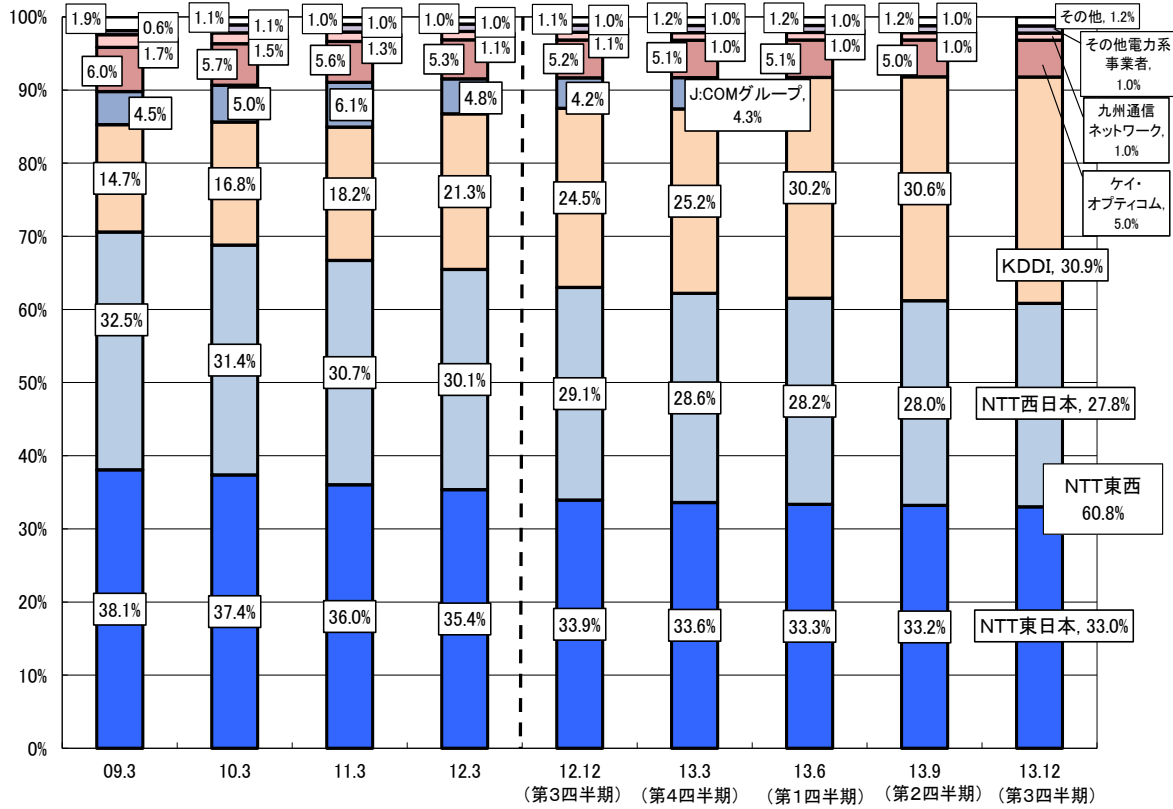
IP電話の利用番号数の事業者別シェアの推移（全体）



注1：ソフトバンクは、ソフトバンクBBとソフトバンクテレコムを合算している。以下同じ。

注2：その他NTTのシェアには、NTTぷらら、NTT-ME、NTTネオメイト、NTTPCコミュニケーションズ、NTTドコモが含まれる。以下同じ。

IP電話の利用番号数の事業者別シェアの推移（OABJ番号）



IP電話の利用番号数の事業者別シェアの推移（O50番号）

